

第8回 「自閉症にやさしい社会」研究会

日時 : 平成22年1月12日(水) 19時~21時
場所 : 金沢大学 角間キャンパス 中央図書館 2F オープンスタジオ
報告 : 東田 陽博 先生
(金沢大学 医学系研究科 教授/子どものこころの発達研究センター センター長)
参加費 : 無料

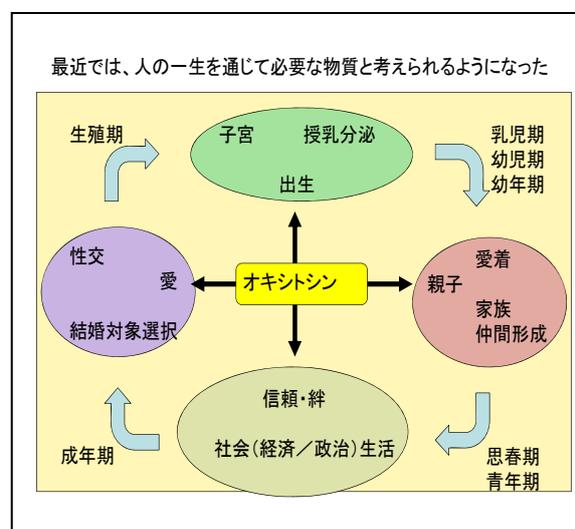
◆内容◆

「自閉症の原因遺伝子と治療:オキシトシンをめぐって」

東田 陽博 先生 (金沢大学)

オキシトシンは従来考えられていた女性のためのホルモンであるばかりでなく、社会性認識や信頼や不安を軽減する中枢作用があるらしい。そして、社会性認識障害が主症状である発達障害の一つの原因であるらしい。オキシトシン遺伝子、受容体遺伝子やCD38の一塩基多型(SNP)が疑われている。自閉症の患者さんが服用すると、眠れる、おとなしくなる(抑制)、感情の爆発が少なくなる、相手への関心がたかまる、目を見る、会話が成立するなどの効果が観察されるようになる。

始まったばかりであるが、今まで、どの向精神薬でも変化がおきなかったのにもかかわらず、オキシトシンが効果を持つ事があり治療薬として使える可能性がある。将来さらなる研究や客観的評価による判定が必要である。



◆報告者プロフィール◆

医学系研究科 脳医科学専攻 脳細胞遺伝子学講座 教授
子どものこころの発達研究センター センター長

1971年 岐阜大学医学部卒業

1975年 名古屋大学大学院医学系研究科修了 医学博士

1975年 名古屋大学助手

1976年 米国国立保健衛生研究所(NIH)ポスドク

1981年 金沢大学がん研究所助教授

1984年 NIH Visiting Scientist

1988年 金沢大学附属神経情報研究施設教授

1990年 ロンドン大学医学部(UCL) MRC(Medical Research Council)ゲストワーカー

2001年~現職

2005年 クラスノヤルスク医科大学客員教授

◆今後の予定◆ 2月5日(土) 時間未定 @宝町キャンパス十全講堂 2F 会議室

問い合わせ先 〒920-1192 金沢市角間町 人文学類 社会学研究室 担当: 竹内慶至

TEL: 076-264-5476 E-mail: ntakeuti@staff.kanazawa-u.ac.jp

HP: <http://ristex-kanazawa.w3.kanazawa-u.ac.jp>